

授業案③ 地域猫制度を考える

1 対象

高校生

2 獲得目標

- ・ルールとしての法の必要性を理解する。
- ・法は、権利義務を定めるだけでなく、社会の形をデザインする機能を有することを理解する。
- ・ルールは内容が公正であり、多数人の利益が考慮されるべきであることを理解する。
- ・ルールは明確でなければならないことを理解する。
- ・ルールは、議論をすることでより良いものとしていくことができることを理解する。

3 本授業案の意義

本授業案は、実際に社会問題となることもある野良猫の問題を題材として扱い、市民の意見を踏まえた上で、市の提案する地域猫制度をよりよく改善していく授業である。

実際の社会問題となり得る事例を扱うことにより、生徒たちには条例をより身近に感じてもらうとともに、条例によって地域における自分たちの行動のルールが定められていることを知り、法や条例がどのようなものを規制し、またその規制は何のためにあるのかなどを考える契機になる授業である。

また、実際の条例も改正等によって社会のルールが変化していくことを知り、自分に適用される法やルールについて、改正の必要性についても自分なりの意見を持つ能力を養う。本授業案は第一東京弁護士会法教育委員会から提供を受けた教材を参考に、本委員会が作成したものである。

4 授業の流れ

段階 時間	○教師の主な発問・指示 ◎学習内容	⇒生徒の反応 指導のポイント
導入 5分	○この授業では、ある町で検討している「地域猫」に関する条例について生徒同士で話し合い、最後に発表してもらうことを説明する。 ◎「条例」の意味について簡単に説明する。	正解があるわけではないことを理解させる。 条例が町のルールであることを理解させる。
展開1 10分	○配布した教材に基づき、地域猫制度案の概要と、市民の意見を読み上げ、内容を簡単に説明する。	教材を各生徒に配布する。
展開2 5分	地域猫制度案について、自分の考える問題点と、その理由をワークシート①に記入する。	机間指導を行い、ワークが進んでいない生徒や誤解している生徒がいれば個別に助言する。

展開2 15分	(授業前に班分けを決め、机を動かしておく) 班(4-5名)に分かれて話し合い、市の提案に対する改善案とその理由をまとめる。班で話し合った結論を、改善点とその理由という形でワークシート②に記入する。	各班の議論の状況を観察し、議論が進んでいない班では適宜サポートする。 どの意見が正しいというわけではなく、利害関係を調整するのが大事であることを理解させる。 意見には、理由が必要であることを説明する。 スムーズに発表できるよう、発表者や発表の順番も決めておくよう指示する。
発表 10分	班ごとに改善案と修正の理由を発表する。 発表された内容を要約してまとめる。	発表内容を板書で整理する。 一つの班の発表が長くなりすぎないように時間調整に留意する。
まとめ 5分	立場によって異なる意見があることを説明する。 利害関係の調整には議論が必要であることを説明する。 条例のように一定のコミュニティに適用されるルールは、各利害関係者の意見が適切に反映されなければならないことを説明する。	

教材「地域猫条例を作ろう」

虹色市では、今まで行っていた野良猫の殺処分を廃止し、新たに「地域猫制度」を導入することを検討しています。以下の「資料」を読んだうえで、その下の「ワーク」に取り組んでください。

<資料>

1 「地域猫制度」検討の背景

虹色市はS県東部に位置する人口約10万人の街です。江戸時代から城下町として栄え、S県の中核として発展を続けてきました。豊かな自然に恵まれ、農業や漁業が盛んです。また、街の各所に古い寺院や文化的建造物があり、観光シーズンには県外からも多くの人が押し寄せます。

近年、虹色市内に野良猫が増えており、市民からの苦情が多く寄せられています。そのため、現在、市では、野良猫を捕獲し、一定期間内に新しい飼い主が見つからなかった猫については殺処分することとしています。毎年、約100匹の野良猫が殺処分されています。

しかし、最近野良猫の殺処分に対する批判が強まってきたことから、新しい野良猫対策として「地域猫制度」を定める条例の制定を検討しています。

2 「地域猫制度」の内容

現在、市が検討している「地域猫制度」の概要は以下のとおりです。

①猫には、飼い主のいる「飼い猫」と、飼い主のいない「野良猫」がいます。地域猫制度は、野良猫を「地域猫」に変えていくことで、野良猫を減らす制度です。

②地域猫活動を行う個人・団体は、市に申請することで「登録ボランティア」として登録できます。登録ボランティアは、野良猫を発見したら捕獲し、不妊去勢手術を行います。手術費用は市が全額負担します。不妊去勢手術を行った猫は、目印として耳に三角の切れ込みを入れます。不妊去勢手術を行い、耳に切れ込みの入った猫を「地域猫」とします。

③市は、猫用のトイレや餌やり場（地域猫ステーション）を市内に複数設置します。地域猫ステーションは、登録を受けた登録ボランティアが無償で管理します。

④市が負担することとなる費用は、地域猫ステーションの設置費用として約1億円、不妊去勢手術費用として年間約300万円と見込まれています。

⑤市民や、市に滞在する者（観光客を含む）が野良猫に餌やりすることは禁止します。

⑥飼い猫の飼い主は、自費で不妊去勢手術を行わなければならない、また、飼い猫を屋外で飼

育することを禁止します。

3 市民の意見

●赤羽さん（48歳男性・自営業）の意見

市の提案に賛成です。

私は、市内の観光地でみやげ店を経営しています。観光地周辺は飲食店も多いので、野良猫が多く集まってきます。それが話題になり、猫と触れ合うことを目当てにやってくる猫好きの観光客も増えてきました。私の店も含め、多くの観光客相手のお店で、猫をモチーフにしたオリジナル商品を販売しており、人気になっています。

野良猫は確かに迷惑なこともありますが、どうせ集まってくるなら邪魔者扱いせず、むしろ名物として積極的に活用するべきだと思います。市の負担で不妊去勢手術を行い、地域猫ステーションを設置すれば、野良猫が野放図に増えることも防げるのではないのでしょうか。

ただ、観光客は、猫に餌をやるのも触れ合いの一つとして楽しみにしています。観光客向けに猫の餌を販売しているお店も多いです。登録ボランティア以外の餌やりを禁止するのはやりすぎだと思います。

●青田さん（30歳女性・会社員）の意見

市の提案に反対です。

私は、家族代々この町に住んでいますが、何年前からか野良猫が一気に増えて大変迷惑しています。町中、猫のおしっこ臭いです。ゴミ捨て場もよく荒らされています。近所の人は庭の花壇に糞をされたとおっしゃっていました。車を傷つけられたという声もよく聞きます。我が家の3歳の息子は猫アレルギーを持っており、猫を飼っていないのに、年中目がかゆいと言っています。家族のためにも引っ越しも考えています。

地域猫と呼び方を変えても、野良猫は野良猫です。不妊去勢手術を推進しても猫がすぐに減ることはないでしょう。むしろ殺処分を廃止することで、猫が増えるのではないのでしょうか。

地域猫ステーションの設置や不妊去勢手術に市のお金を使うというのは、市のお金で野良猫を飼うようなものです。他にもっと有益な使い方があると思います。

地域猫のおかげで観光客が増えるという意見もあるようですが、恩恵を受けるのはごく一部の人たちです。一部の人たちのお金儲けのために多くの住民が不便を強いられるのでは本末転倒です。

●緑川さん（72歳女性・無職）の意見

市の提案に反対です。

我が家では長年猫を飼っています。私が小さいころ母が拾ってきた捨て猫が子を産み、代替わりしながら、今は3匹の猫がいて、家族だけでなく近所の人からも愛されています。我が家では、子猫のうちからきちんと家の中でトイレを使うようしつけていますので、外でひと様に迷惑をかけることはありません。

そんな家族同様の猫たちに、今から去勢手術を受けさせるなんて考えられません。去勢手術は安全だと聞いたことはありますが、手術である以上リスクはあります。それに、人間の都合で、生き物である猫から子供を産み、育てる能力を奪うというのは、あまりにも乱暴な話です。また、屋内飼育の方が猫にとっても安全というのは確かにその通りかもしれませんが、安全のために家の中に閉じ込めるのは、好奇心の強い猫にとって強いストレスです。

うちの猫が、たまたま外にいるときにボランティアの人に捕獲されて、勝手に手術されたらと思うと不安でなりません。

●白石さん（22歳男性・学生）の意見

市の提案に賛成です。

私は、大学の仲間と、野良猫を保護し、不妊去勢手術を行ったり里親を探したりするサークル活動を行っています。私たちはみんな猫が好きで、殺処分される野良猫を何とか救いたいという思いから自主的に活動しています。誰かからお金をもらっているわけではありません。

不妊去勢手術は1回5,000円程度かかります。これまでは、募金などで集めたお金をこの費用に充ててきました。市の提案では、不妊去勢手術費用を市が負担してくれるとのことなので大変助かります。

ただ、私たちはあくまで学生サークルなので、卒業などでメンバーが減ることもあります。いつまでこの活動が続けられるか不安があります。

市の提案では、地域猫ボランティアの活動は全て無償とされています。しかし、ボランティアの善意に頼った制度ではいつか破綻してしまいます。誰も活動に参加しなかったら誰が地域猫の面倒を見るのでしょうか。地域猫を観光資源として活用したいのであれば、ボランティアではなくしっかりと仕事内容に見合った報酬を出すべきです。

4 ワーク

①市の提案する地域猫制度について、あなたが問題があると思う点とその理由を書いてください（いくつでも）。市民から指摘がない点でも構いません。

問題点	その理由

②市の職員になったつもりで、地域猫制度がより多くの市民に受け入れるためにどのような改善をすればよいか、班で話し合い、改善案をまとめてください（いくつでも）。

改善すべき点	その理由